

公益財団法人日本豆類協会
個人情報の保護に関する基本方針

平成 25 年 4 月 1 日
公益財団法人日本豆類協会
理事長 佐藤 俊彰

公益財団法人日本豆類協会（以下「協会」という。）は、個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）、同法に基づき政府が策定した個人情報の保護に関する基本方針（閣議決定）、関係各省庁が定めた個人情報の保護に関するガイドライン等の規定やその基本理念・趣旨を踏まえ、事業活動の実施により取得した個人情報を適切に保護するため、個人情報の保護に関する基本方針を策定・公表し、これに基づき業務を適正に遂行して参ります。

1 個人情報の取得及び取扱いに関する措置

(1) 利用目的を明確化した上での個人情報の取得

協会は、個人情報の利用目的を特定し、事業活動遂行のために必要な範囲内で個人情報を取得します。個人情報の取得に当たっては、あらかじめその利用目的を公表し、又は個人情報提供者本人に対し利用目的を明示した上、本人の意思に基づいて情報の提供を受けます。公表又は本人に明示した利用目的を変更することはありません。

(2) 取得した個人情報の適切な取扱い

協会は、個人情報保護法で規定された第三者提供の制限の例外に該当する場合（法令に基づく場合、国等に協力する場合等）を除き、取得した個人情報の第三者への提供を行うことはありません。

なお、協会は、個人情報を取り扱う業務の全部又は一部を外部に委託して実施することがあり、その際、個人情報を委託先に取得させること、又は協会保有の個人情報を委託先に提供することがあります。当該委託業務の実施に当たっては、委託契約書に委託先における個人情報管理責任者の配置、情報の流出、目的外利用等の防止策、情報の返却・廃棄の方法、再委託の際の監督責任の明確化等個人情報の保護に関する規定を盛り込んだ上、個人情報の適正な管理が行われるよう委託先を指導・監督します。

2 個人情報提供者の権利・利益を尊重するための措置

(1) 個人情報の取扱いに関する苦情処理への適切な対応

協会は、個人情報の取扱いに関する苦情を受け付けるための窓口を設け、苦情を受けたときは誠意をもって適切に対応し、迅速に問題を解決するよう努めます。

(2) 個人情報の開示、訂正請求等への適切な対応

協会は、個人情報提供者から、本人の個人情報に関し、使用目的の通知、データの開示、内容の訂正・追加・削除、利用の停止・消去等の請求があったときは、適切かつ速やかに対応します。

(3) 個人情報の外部への漏えい、流出等の問題が発生したときの対応

協会は、万一、取得した個人情報の外部への漏えい、流出等の問題が発生したときは、二次被害防止等の観点から事実関係等を調査、解明するとともに、関係者に対し可能な限り速やかに状況報告等を行います。

3 個人情報保護態勢の整備・強化

(1) 個人情報保護規程の策定

協会は、個人情報の適正な取扱いについて協会の役職員が遵守すべき事項を定めた個人情報保護規程を策定し、これを実施運用することにより個人情報を適切に保護・管理するよう努めます。

(2) 外部からの不正アクセスの防御対策

協会は、不正アクセス、盗難等により個人情報データの紛失、破壊、改ざん、漏えい、流出等の問題が発生しないよう、必要な予防・是正措置を講じます。

(3) 個人情報の安全管理に関する内部体制の整備

協会は、個人情報管理責任者を設置し、個人情報保護対策を適切に推進します。また、協会内部関係者の個人情報データの利用に関する管理の徹底、持ち出し防止等に関する対策を適切に講じます。

(4) 内部啓発による個人情報保護意識の徹底

協会は、内部啓発活動等により、協会の個人情報取扱い事務従事者に個人情報保護意識を徹底します。

4 法令遵守のための取組みの維持と継続

(1) 法令等の遵守

協会は、個人情報の取扱いに関し、個人情報保護に係る法令等を遵守し、これらに則した業務運営を行います。

(2) 個人情報保護に関する方針等の見直し・改善

協会は、個人情報を保護するための方針、態勢、措置等について、協会の事業内容の変化、法令、社会環境、コンピュータ・ネットワーク等情報技術に関する環境等の変化に応じ、継続的に見直し、改善します。